

令和 5 年度事業活動報告書

NPO における平成 21 年設立以来の活動内容

政策提言	宇宙基本計画に係る提言（内閣官房宇宙開発戦略本部事務局） 安全保障のための宇宙利用推進（自民党宇宙総合戦略小委員会） 安全保障のための MDA（自民党、内閣府、国家安全保障局、防衛省） 安全保障に係る海洋状況把握（内閣府、国家安全保障局、防衛省） 安全保障に係る宇宙からの MDA（防衛省） 将来を見据えた宇宙政策の在り方（防衛省防衛政策局 令和 4 年 4 月） 衛星 VDES に関する説明会（海幕指揮通信情報部長 令和 4 年 12 月）
自主研究	デュアルユースの研究（平成 21 年） 海洋監視衛星システムの研究（平成 21－23 年） 射場システムの研究（平成 27－28 年） 安全保障衛星と MDA の研究（平成 28－29 年） 地球観測・監視プログラムの推進体制（平成 29－30 年） みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社との研究（平成 3 年） アークエッジ・スペースとの勉強会（3 月 11 日～4 月 16 日 計 3 回）
受託研究	ALOS-1 が撮像した船舶画像の解析（経済産業省、平成 23－26 年） 海洋への衛星利用の研究（海洋政策研究財団、平成 24－25 年） リモセン法基礎調査支援（内閣府宇宙戦略室、平成 27 年） 射場課題の体系的整理（同上、平成 27－28 年） 安全保障に係る宇宙からの MDA に関する調査（防衛装備庁、令和 2 年） 将来を見据えた宇宙政策の在り方に関する調査・研究（防衛省戦略企画課 令和 3 年）
セミナー	海洋と宇宙の連携セミナー（平成 26－28 年）5 回
シンポジウム・勉強会	安全保障と宇宙利用（令和 2 年 10 月） 新たな防衛戦略とサイバー（令和 4 年 11 月） 衛星 VDES による MDA 能力強化に関する研修会（令和 5 年 3 月） 最新の安全保障と宇宙 研究会（令和 5 年 6 月） 宇宙の安全保障利用の国際的潮流（令和 5 年 5 月 21 日）
TTX	衛星コンステレーションに必要な機能・性能を導出するための TTX2024（令和 6 年 6 月～7 月 計 5 回）
パブリックコメント提出	宇宙基本計画（案）に対するパブリックコメント提出（令和 2 年 4 月、令和 5 年 5 月） 海洋基本計画（案）に対するパブリックコメント提出（令和 5 年 3 月） 宇宙技術戦略(案) に対するパブリックコメント提出（令和 6 年 3 月）

※ 赤字は令和 5 年度実施したもの。なお組織名称は、当時のもの

令和5年度に実施した主な事業の概要は次のとおりである。

1 シンポジウム・勉強会の開催について

今年度は防衛省幹部、会員及び招待企業等に対して1回の研修会・勉強会を実施した。詳細は、以下の通りである。

○ シンポジウム「宇宙の安全保障利用の国際的潮流」

ア 日時・場所：令和6年5月21日 グランドヒル市ヶ谷 3階珊瑚の間

イ 参加者：防衛省及び会員、招待企業等 114名

ウ 内容：講師によるプレゼンテーション及びパネルディスカッション

① 「宇宙の安全保障利用の現在」 三菱電機主席技監 小山 浩氏

② 「MilSatCom について」 日本電気 池田 忍氏

③ 「防衛省の宇宙産業」 防衛省戦略企画参事官 荒 心平氏

④ パネルディスカッション及び質疑応答

宇宙利用を推進する会 深山 延暁 副理事

2 防衛省防衛政策局戦略企画課からの聞き取り

2月26日 1330-1430 防衛省会議室

3 アークエッジ・スペースとの勉強会

3月11日～4月16日 計3回

4 衛星コンステレーションに必要な機能・性能を導出するための TTX2024

以下のとおり、実施した。

(1) 6月4日(火) 1300-1600 TKP カンファレンスルーム 参加者 59名

(2) 6月11日(火) 1300-1600 TKP カンファレンスルーム 参加者 38名

(3) 6月25日(火) 1300-1600 TKP カンファレンスルーム 参加者 33名

(4) 7月2日(火) 1300-1600 TKP カンファレンスルーム 参加者 31名

(5) 7月16日(火) 1300-1600 TKP カンファレンスルーム 参加者 35名

延べ 194名

5 パブリックコメント提出

以下のとおりパブリックコメントを提出した。

○ 宇宙技術戦略(案) に対するパブリックコメント提出 (令和6年3月)

6 会員の勧誘活動

個人会員及び団体会員の勧誘を積極的に行い、新規会員を獲得できた。